

形名によって据付けが異なりますので、あらかじめご使用の形名をご確認ください。



三菱換気空清機 **クラスロスナイ**  
壁掛2パイプ取付ロスナイ

ロスナイ換気タイプ			急速排気付タイプ		
仕様	形名	タイプ	仕様	形名	タイプ
標準冷地・ 温暖地仕様	VL-16U3	引きもタイプ	標準冷地・ 温暖地仕様	VL-200UA5	雑ガスセンサー付自動運転 ワイレスリモコンタイプ※1
	VL-16EU3	壁スイッチタイプ		VL-18EUH3	壁スイッチタイプ
寒冷地仕様	VL-16U3(-BE)-D	引きもタイプ		VL-18URH3	ワイレスリモコン タイプ
	VL-16EU3(-BE)-D	壁スイッチタイプ			
	VL-18U3(-BE)-D	引きもタイプ			
	VL-18EU3(-BE)-D	壁スイッチタイプ			

※1を本書では「自動運転タイプ」と略します。  
※寒冷地仕様は標準冷地・温暖地でも使用できます。

## 据付説明書

販売店・工事店様用

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。お客様に必ずお渡しください。

- この製品は住宅用です。それ以外には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品の性能、機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。据付けの前に、この据付説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
- 据付けは販売店・工事店様が実施してください。（お客様ご自身では据付けしないでください）
- 電気工事は販売店・工事店様において有資格者である電気工事士の方が実施してください。（無資格者の電気工事は法律で禁止されています）

## 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。次の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの		<b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家庭・家財などの物的損害に結びつくもの		<b>禁止</b>		風呂・シャワー室での使用禁止
					<b>分解禁止</b>		指示に従い必ず行う
					<b>水ぬれ禁止</b>		

## 警告

- 自動運転タイプは計画法に基づく計測器ではありません。酸欠防止や可燃性ガスなどの検知装置として使用しない（室内が酸欠状態になったり、火災の原因）
- 高温となる場所や直接炎があたり、油煙の多い場所、有機溶剤のかかる場所には据付けない（火災の原因）
- 改造や必要以上の分解はしない（火災・感電、けがの原因）
- 製品を水につけたり、水をかけたりしない（火災や感電の原因）
- 浴室など湿気の多いところには本体および壁スイッチを据付けない（感電・漏電の原因）
- 交流100Vを使用する（直流や交流200Vを使用すると火災・感電の原因）
- 外気の取り入れは、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれたりしない位置を選ぶ（新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる原因）
- 本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う（落下によるけがの原因）
- 端子台接続部のある機種は指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する（接続に不備があると火災の原因）
- 電気工事は電気設備の技術基準や内線規程に従って必ず専門の電気工事（電気工事士）が安全・確実に行う（接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因）
- 据付け後長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切るか電源プラグをコンセントから抜く（経路劣化による感電や漏電火災の原因）
- 端子台カバーは電気工事後必ず据付ける（ほこり・湿気などの浸入による漏電・火災の原因）

## 注意

- 壁据付け専用です。天井には据付けない（落下によるけがの原因）
- 据付けの際は手袋を着用する（けがの原因）
- 給排気パイプは室外側に向かって下りこ配になるように取付ける（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因）
- ドレン排出は、据付説明書に従って確実に（水漏れによる感電・火災や家財等を濡らす原因）
- 専用のシステム部材のフードを取付ける（雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因）
- 下記の使用条件を超える地域・場所には据付けない  
外気温：-5～40℃（標準冷地・温暖地仕様）、-10～40℃（寒冷地仕様）  
本体周囲および送気温度：0℃～40℃、相対湿度80%以下かつ最低外気温条件（-5℃）にて露点温度7.9℃（20℃、相対湿度45%相当）となる絶対湿度以下  
使用条件を超えた場合、結露水が滴下することがあります。

## お願い

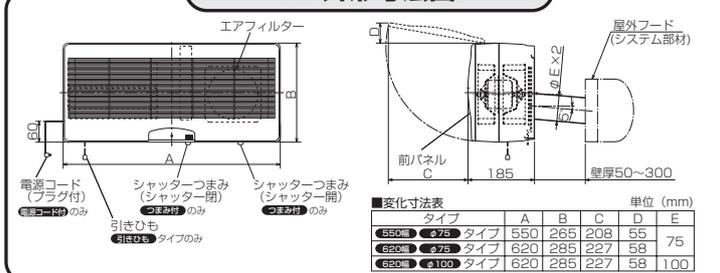
- 中・高層住宅や海岸沿いなど外風の影響を受けやすいところでは、運転停止時に外風が侵入することがありますので、直接風が当たらないところに設置してください。
- 増雪・温泉蒸気の発生しているところは使用しないでください。

## 1. タイプ別の違い

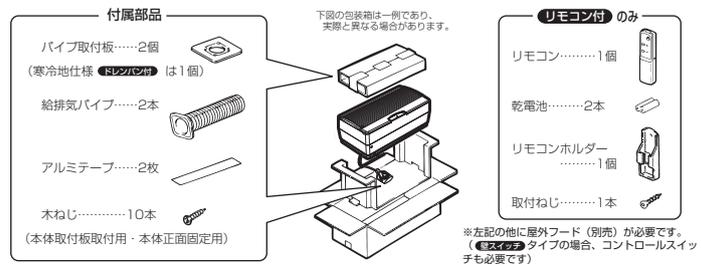
タイプ別に違いがありますので、あらかじめ形名を確認してください。  
※本文中では、表中のマークを使って説明しています。

タイプ	仕様	形名	シャッター		電気式	引きも	壁スイッチ	リモコン付	自動運転	パイプ径	本体幅	電源コード付
			シャッターつまみ（手動式）	シャッターつまみ（電動式）								
ロスナイ換気タイプ	寒冷地仕様	VL-16U3(-BE)-D								φ75	620mm	
		VL-16EU3(-BE)-D								φ75	620mm	
	標準冷地・ 温暖地仕様	VL-18U3(-BE)-D								φ100	620mm	
		VL-18EU3(-BE)-D								φ100	620mm	
急速排気付タイプ	標準冷地・ 温暖地仕様	VL-18EUH3								φ100	620mm	
		VL-200UA5								φ100	620mm	

## 2. 外形寸法図



## 3. 同梱部品を確認してください

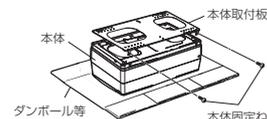


## 4. 据付けの前に

本体固定木ねじ2本をはずして、本体取付板をはずす。

### お願い

- 本体固定木ねじを保管してください。本体据付時に必要です。
- 本体の傷つき防止のため、ダンボールなどを敷いてください。
- 本体背面のシャッターは工場出荷時は閉じています。（電動シャッターは、運転時に電動で開きますのでシャッターに穴を開けないでください）



## 5. 据付方法

### 5-1. 壁穴工事

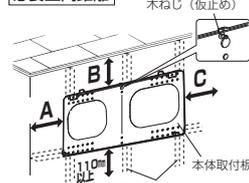
#### 1-1. 据付位置を決める

(1) 下表の必要空間距離を確認する。

タイプ	A	B	C
550幅 タイプ	81以上	82以上	81以上
620幅 タイプ	116以上	102以上	116以上

単位 (mm)

必要空間距離



- 本体取付板を壁にあてる。
- 壁内の補強材に本体取付板の木ねじ止め位置があるか確認する。
- 木ねじ1本で本体取付板を仮止める。

### お願い

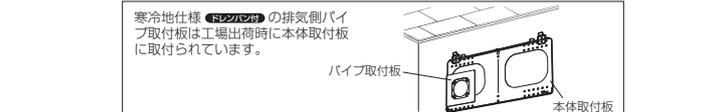
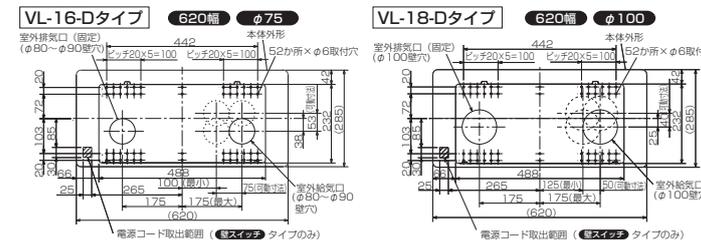
- 本体取付板の取付面が平らであることを確認してください。（異常音発生、シャッター動作不良の原因となります）

#### 1-2. 壁穴位置を決める

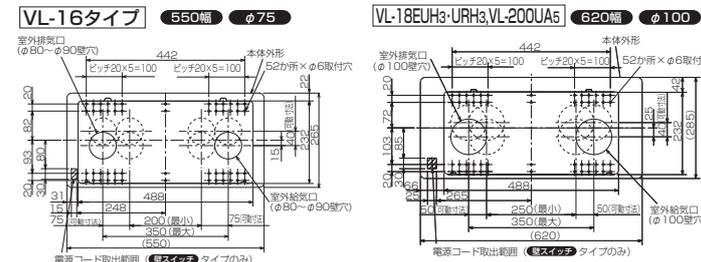
■据付位置図（室内側から見る） 単位 (mm)

下図を参照し可動範囲内で壁内の障害物をさけて位置を決める。（壁穴位置は機種により異なります）

寒冷地仕様



標準冷地・温暖地仕様



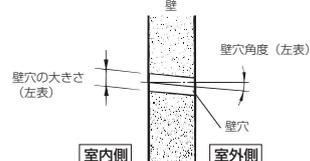
#### 1-3. 壁穴をあける

- 壁に仮止めた本体取付板をはずす。（1-1で仮止めた木ねじはそのまま）
- 下表の径の壁穴をあける。

径	壁穴の大きさ	壁穴角度
φ75 タイプ	φ80～90mm （パイプを延長する場合はφ90mm）	5°
φ100 タイプ	φ100～110mm （パイプを延長する場合はφ110mm）	5°
φ100 タイプ	φ100～110mm （パイプを延長する場合はφ110mm）	2°～5°

### お願い

- 壁穴は室外側に下りこ配となるようにつけてください。雨水の浸入防止のために必要です。



#### 1-4. 電源・連絡電線を引き出す

壁スイッチ タイプのみ

- 電源・連絡電線取出位置を決め、壁穴をあける。（1-2の据付位置図参照）
- 電源・連絡電線を室内側へ引き出す。

### お願い

- 引きも、リモコン付 タイプの場合は電源コードの届く範囲に電源コンセントを取付けてください。



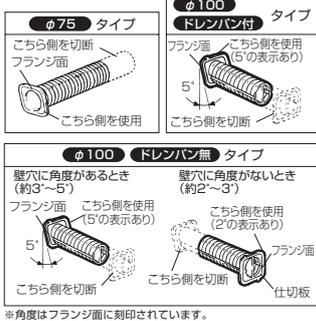
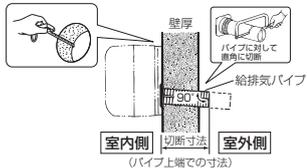
## 5. 据付方法 つづき

### 5-2. 給排気パイプ・本体取付板の固定

#### 2-1. 給排気パイプの切断

- 壁厚を測る。
- 切断する方向を決める。
  - 製品形名および壁穴の角度により、切断する方向が異なります。(右図参照)
- 下表の寸法でパイプを直角(パイプに対して)に切断する。(屋外フードによって切断寸法が異なります)
  - 下表の切断寸法を超えた場合、屋外フードが取付かなくなります。

屋外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm
防火ダンパーなし	壁厚+30mm

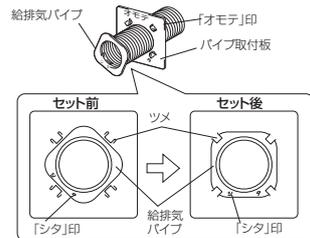


- ※角度はフランジ面に刻印されています。
- φ100パイプは1パイプソライ(別機種)と共通部品のため、中央に仕切板があります。

#### 2-2. 給排気パイプの準備

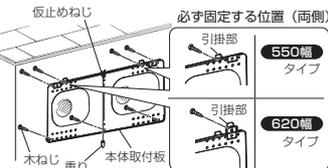
給排気パイプをパイプ取付板に差し込み、左回りに回転させてツメ4か所に引っかけます。

- お願い**
- 寒冷地仕様(ドレンパン付)は排気側のパイプを本体取付板に固定してください。(あらかじめパイプ取付板が本体取付板に固定されています)
  - 給排気パイプの「シタ」印を下にして取付けてください。取付後、給排気パイプが室側内側に向かって下りこの配になっていることを確認してください。(雨水浸入やシャッター動作不良の原因になります)
  - パイプ取付板のツメが4か所とも給排気パイプにかかっていることを確認してください。(製品背面が押されてシャッター動作不良の原因になります)



#### 2-3. 本体取付板の固定

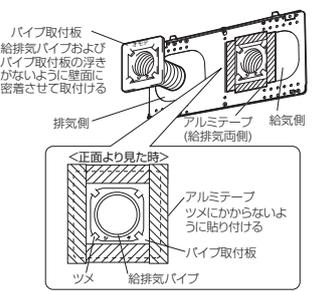
- 本体取付板を仮止めねじに仮固定する。(寒冷地仕様(ドレンパン付)は2-2.で排気側パイプを本体取付板に固定しているため、排気側パイプごと壁に差し込む)
- 重りを吊り下げて本体取付板の水平(傾き1°以内)を確認する。
- 壁内の補強材がある位置に木ねじ7本で固定する。(固定位置右図)



- お願い**
- 引掛部近くの2か所は必ず固定してください。(右図「必ず固定する位置」を参照)
  - コンクリート壁の場合は市販のコンクリートビスで固定してください。

#### 2-4. 給排気パイプの固定

- 2-2.で固定した給排気パイプを壁穴に差し込む。(寒冷地仕様(ドレンパン付)は給気側のみ差し込む)
- 付属のアルミテープを右図のように給排気パイプが壁面に密着するように貼り付け固定する。(密着していないと給排気パイプが浮いてシャッター動作不良の原因になります)

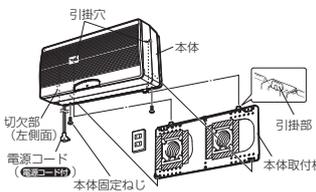


- お願い**
- 給排気パイプの「シタ」印を下にして取付けてください。(ドレン水(ドレンパン付)の逆流や雨水が浸入します)
  - 給排気パイプを取付けた後、室外側に向かって下りこの配になっていることを確認してください。
  - 屋外フード(別売)取付時、給排気パイプを室内側へ押さえないよう注意してください。(シャッター動作不良の原因になります)

### 5-3. 本体の固定

#### 電源コード付タイプ

- 右図のように本体の引掛穴を本体取付板の引掛部に引っ掛ける。(両側)
  - ドレンパンの先端を給排気パイプに入れながら取付けてください。(ドレンパン付)のみ
- 本体を壁側に押しつけて、本体固定ねじ2本で固定する。このとき、電源コードを本体側面の切欠部に確実に入れ込む。(切欠部に入っていないと本体が浮きます)
- 電源プラグをコンセントに差し込む。

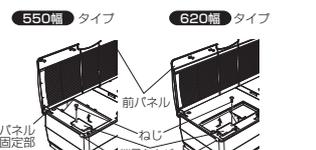


- 電源コードを右側から出す場合
- 本体右側の薄肉部を打ち抜き、切欠部をつくる。
  - 電源コードを本体背面の溝に通し、右側へまわす。

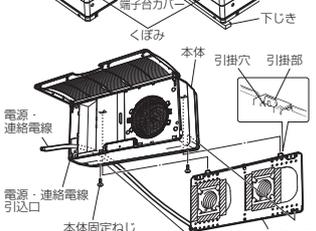


#### 壁スイッチタイプ

- 前パネルを開ける。本体両側の「くぼみ」に指を掛けて手前に引いて持ち上げる。
  - ドレンパンの先端を保護するために右図のように下じきの下に差してください。(ドレンパン付)のみ
  - 前パネル開閉時、パネル固定部に無理な力がかからないよう注意してください。
- ねじ1本をはずし、端子台カバーをはずす。



- お願い**
- はずした端子台カバー・ねじは無くさないよう保管してください。
  - 本体背面の電動シャッターは運転時にひらきますので、シャッターに穴を開けないでください。
- 本体背面の穴に電源・連絡電線を引き込む。(電源・連絡電線引込口を経由して室内へ)
  - 本体の引掛穴を本体取付板の引掛部に引っ掛ける。
    - このとき(ドレンパン付)はドレンパンの先端を給排気パイプに入れながら取付けてください。
  - 本体を壁側に押しつけて本体固定ねじ2本で固定する。

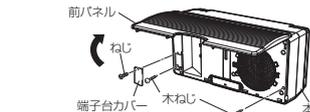


## 5. 据付方法 つづき

### 5-3. 本体の固定 つづき

#### 本体を正面から固定する場合

- 本体を本体取付板に引っ掛ける。
- 前パネルを開く。
- ねじ1本をはずし、端子台カバーをはずす。
- 付属の木ねじ2本を右図のように固定する。
- 端子台カバーを元通りねじ止める。
- 前パネルを降ろして閉じる。

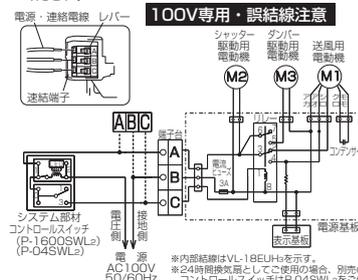


### 5-4. 電気工事

運転にはコントロールスイッチが必要です。システム部材のコントロールスイッチを準備して、説明書に従って取付ける。

- 電源・連絡電線を先端8.5mm皮むきし、速結端子に差し込み、レバーをたおす。(適用電線VVF単線φ1.6)

※太線・破線部分は有資格者である電気工事が施工してください。



- お願い**
- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチへの結線部分と渡り線が異なり、誤結線となる場合があります)
  - 誤結線により、内蔵リレーのチャタリングが発生する場合があります。このとき他の電気製品(医療機器含む)に電圧障害が生じる可能性がありますので、必ず結線図に従ってください。
  - ホタルスイッチや電子スイッチ(半導体制御による速動スイッチ・タイマー等)など、当社指定以外のスイッチをご使用の場合は、組合せ上(シャッター動作などの)不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 速結端子から電線が抜けないことを確認する。
  - 端子台カバーを元通りねじ止める。
  - 前パネルを降ろして閉じる。
  - 分電盤のブレーカーを入れる。

### 5-5. 室外側工事

#### 5-1. 壁穴をふさぐ

給排気パイプと壁穴とのすき間を市販のコーキング材でふさぐ。

- お願い**
- すき間をふさがないと雨水が浸入します。



#### 5-2. 屋外フードの取付け

屋外フードの据付説明書に従い屋外フードを取付ける。

- お願い**
- 屋外フード(別売)取付時、給排気パイプを室内側へ押さえないでください。(シャッター動作不良の原因になります)

## 6. 据付け後の確認

- 据付け終了後、試運転の前にチェック表にしたがって点検します。
- 不具合があった場合は必ず直してください。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)

#### ■チェック表

	チェック項目	処置	チェック
据付け	本体の据付け強度は十分ですか?	補強する	
	本体が確実に取付けられていますか?	本体固定ネジを締め直す	
	前パネルが確実に閉じられていますか?	前パネルを閉じる	
	コーキングはしましたか? (屋外側:給排気パイプ、屋外側)	コーキングをする (コーキングをしないと雨水が浸入します)	
動作確認	電圧は交流100Vですか? (交流100Vに直す (異電圧を印すると破損します))		
	スイッチの操作と本体動作は合っていますか? (※スイッチタイプのみ)	誤結線です 結線図に従って結線をやり直す (本体は修理しません。右図「電圧チェック表」を確認します)	
	羽根振り音がしていますか? 運転開始/停止時に異常音がありますか?	前パネルを開け、エアフィルターをはずしてゴミなどを取り除く (見えない範囲のみ)	
	シャッターがスムーズに動作しますか? (※ドレンタイプのみ)	給排気パイプ、パイプ取付板が浮かないように壁面に密着させる	

#### ■電圧チェック表

モード	スイッチ操作	端子間電圧	チェック
停止	切	A-B	0
	[指または金通]	A-C	0
		B-C	0
強運転または急速	入	A-B	100
	[指または金通]	A-C	100
		B-C	0
弱運転またはロスタイム運転	入	A-B	100
	[指または金通]	A-C	0
		B-C	100

- 測定した電圧が上表の端子間電圧と異なる場合は、誤結線されているか、適用外スイッチ(ホタルスイッチ、電子式スイッチなど)の使用が原因と考えられます。通電を停止して、当社指定スイッチへの変更などを実施し、再度結線図に基づき配線やり直し、チェックしてください。
- 端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。

## 7. 試運転

■できるかぎりお客様と一緒で、試運転を行ってください。

- 電源を入れる
  - 分電盤のブレーカーを入れる。
  - 電源プラグをコンセントに差し込む。(電源コード付)のみ
- 運転状態の確認を行う
  - 運転のしかたは、取扱説明書をご覧ください。
  - つまみ付は、シャッターつまみを「ひらく」位置にする。
- 異常な振動・騒音がないか確認し、確認後停止する
  - 停止後、シャッターを「閉じる」位置にする。  
(お客様がお使いになるまで製品内にほこり等が入らないようにします)
  - 電源プラグをコンセントから抜く。(電源コード付)のみ
  - 分電盤のブレーカーを切る。

- お願い**
- 運転停止後すぐに電源を遮断しないでください。(電動シャッターが開いたままになります) (リモコン付)

#### お客様への説明

- 分電盤のブレーカーとコンセントまたは、壁スイッチの位置をお客様へ説明してください。
- チェック表の結果をお客様へお知らせください。
- 「リモコン付」、「リモコンホルダー」、「乾電池」、「取付ねじ」をお客様へお渡しいたします。
- この「据付説明書」は、別冊の「取扱説明書」とともにお客様へお渡しいたします。
- お客様が不在の場合は、発注者(オーナーなど)または、管理人様へ説明してください。